

学校は、今…

SCHOOL REPORT ① 勤労体験の取り組み

市内の小学校では、生活科や総合的な学習の時間を中心に勤労体験を取り入れ、中学校でも、5日間連続の職場体験に取り組んでいます。今回は、小学校での勤労体験をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

シイタケ植菌・親子教室 (田原南部小学校)

1月24日(土)に、東三河事務所林務課の浅岡さんと森さんを講師にお招きし、1年生の親子がシイタケ植菌に取り組みました。説明を聞いてテキパキと作業をする子どもたち。活動を終えた子どもたちは、「シイタケの菌の植え方を教えてくれて、ありがとうございました。今からシイタケができるのを楽しみにしています」などと、浅岡さんと森さんにお礼の手紙を書きました。

植菌された木は、学校裏にある藤尾山のふもとに置かれ、子どもたちは再来年の秋にシイタケがたくさん収穫できるようにと願っています。



▶ 植菌に挑戦する親子



▶ 飼育の達人の話を聴く子どもたち

ウサギの飼育 (清田小学校)

平成20年6月19日(木)に、3年生が愛知県主催の「飼育の達人」の授業でウサギについて学びました。授業を受けてから、子どもたちは雨の日や風の強い日にはウサギの様子を気にかけるようになったようです。小屋に雨が降り込む危険を感じると、子どもたちは大あわて。「ウサギがぬれて死んでしまう、救出しよう」「目やにで目が開けられない。保健室に連れていこう」など、ウサギに愛情をもって接するようになりました。

ウサギを大切に思い、飼育当番を楽しみにする子どもたちを見て、保護者の皆さんもうれしく思っているようです。

キャベツの収穫 (亀山小学校)

3月4日(水)に、全校児童71名が学校農園『汗の広場』でキャベツの収穫を体験しました。学年ごとに仕事を分担し、真剣に収穫作業に取り組みました。6年生がキャベツを切り、1・2年生がキャベツを運び、3年生が箱を作り、4・5年生が箱に詰めました。「箱が足りない」と言われ、息つく暇もなく箱を作った3年生や、3つも4つもキャベツを抱えて運ぶ1・2年生もいました。

前日が雨だったので、カッパを着ての作業でしたが、323箱のキャベツを市場に出荷することができ、子どもたちは達成感を感じることができたようです。



▶ 力を合わせて出荷の準備をする子どもたち